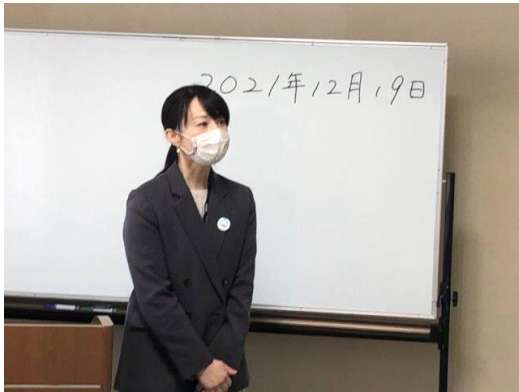


できた！が増える片づけ教室

～子ども部屋から海をキレイに～

開催しました！



- 日時 2020年（令和2年）12月19日（土）10：00～12：00
- 会場 三木町文化交流プラザ
- 講師 整理整頓コーディネーター いずみなみか 氏
整理整頓コーディネーター 小川 智恵 氏（講師アシスタント）
- 共催 三木町環境下水道課

12月19日（土）、三木町文化交流プラザにて、三木町環境下水道課共催でかがわ里海大学「できた！が増える片づけ教室」を開催し、17名が受講しました。本講座は、「お片づけ」という小さな気遣いや活動が、海を守ることに繋がっていることを知り、日々の暮らしの中で環境について考え、様々な活動に取り組んでいただくことを目的としています。

講座の前半は座学を行いました。ごみを減らすためには、人とモノがうまくかわりあって「海を守る暮らし」を作っていくなくてはならないことや、「モノを大切に思う心」の大切さについてお話いただきました。続いて、片づけがうまくできないことで起こる暮らしの悪循環についてや、「やってみる！」という一つの行動から良いサイクルが生まれるお話、整理整頓の手順やポイントを4階建てのビルのに例えてわかりやすく解説していただきました。また、子どもに片づけのきっかけを与え、「できた！」という成功体験を与えることで、片づけを「習慣」として身に付けることができるというお話もありました。

整理整頓に役立つアイテムとして、家庭にある空き箱で簡単に作れる収納箱の紹介もありました。



講座の後半は、実際に片づけを想定したワークをカードを使って行いました。

配布されたカードには、身近な文房具などの名前が記載されており、それぞれを「いる」、「いない」、「迷う」、「あげる」の4つに分類しました。

家庭ではついつい口をはさんでしまいがちな保護者の方々も、今回は子供たちの意見を尊重し、見守りながら楽しく作業を行いました。前半の座学では、必要なモノだけに分類する方法のコツとして、「いないものを捨てる」のではなく、「いるモノを選ぶ」という発想により、子どもの記憶にもものこりやすく、モノを大切に思う心を養うことができるというお話があり、実践ではその内容を生かし、親子でコミュニケーションを取りながら楽しく学ぶことが出来ました。



最後は、講師に総括をいただき、ウミゴミラとの記念撮影も行いました。参加者の子供たちからは、「片づけの勉強が出来て、実践もあって、楽しかったです。」「楽しかったから家に帰ったら片づけしたいです。」等の声がありました。また、共催の三木町環境下水道課より、素敵な記念品が配られ、参加者はとても喜んでいる様子でした。

「片づけ」という日々の暮らしの中でとても身近な作業を通して、モノとの関わりを考え、モノを大切にすることが環境保全につながる事を学びました。

